

(6) 追跡評価書 記載要領

整理 番号	-
----------	---

追跡

平成 17 年度補助事業 追跡評価書 記載要領】

法人名	(福) 福祉会		
事業名	平成17年度	老人福祉施設の車両整備	補助事業
事業費総額	, 千円	補助金額	, 千円
1. 事業の目的 (事前評価書に記載した事業の目的を記載する。)			
<p><記載例></p> <p>本法人が運営する特別養護老人ホーム、デイサービスセンターには車椅子対応車両が2台あるものの、需要に対応できず、一般車両を使用している状況である。そこで、入所者の移送や屋外活動、利用者の送迎に使用するため、新たに車椅子対応車両 (リフト式) を整備する。</p>			
2. 目的の達成状況 (上記目的に対し、どの程度まで達成されたと判断されるか記載する。)			
<p><記載例></p> <p>平成 17 年 8 月に車椅子対応車両を配備できた。 配備後 1 年 4 カ月が経過し、利用者の順調に増加している。(延べ平成 17 年度 人、平成 18 年度 人) また、車椅子対応車両が 3 台となったことで、サービスエリアを拡大することができた。</p>			
3. 事業の必要性 (事前評価書に記載した本事業の意義、重要性、必要性等を記載する。)			
<p><記載例></p> <p>本法人は 2 台の車椅子対応送迎車両を稼働させているが、現状では需要に対応しきれず、一般車両で対応せざるを得ず、車椅子の要介護者を乗車させる際に抱きかかえなければならない。安全で、スムーズな移送・送迎を行うため、車椅子対応車両 (リフト式) の整備は急務である。</p>			

(注)当該補助事業が複数の事業で構成されている場合は、「3.事業の内容」、「4.事業完了後に発生した効果」を各事業項目毎に記載すること

3.事業の内容 (事前評価書に記載した事業の内容を記載する。実際の事業実施内容と、事前評価時の内容が異なった場合は、事後評価書に記載した内容を記載する。)

<記載例>

本法人施設に下記福祉車両を整備し、入所者、利用者の安全な移送を行う

施設名： 特別養護老人ホーム・ デイサービスセンター

車両名： (メーカー名：)

種 別 車椅子対応車両 (リフト式)

4.事業完了後に発生した効果 (事業完了後に発生したと考えられる事業の効果を記載する。)
波及効果も含む。ただし、直接的関連性の説明できる範囲で記載する。

<記載例>

配備後 1年 4ヵ月が経過し、利用者の順調に増加している。(延べ平成 17年度 人、平成 18年度 人)また、車椅子対応車両が 3台 となったことで、サービスエリアを拡大することができた。